



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

# 長野西ロータリークラブ



例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1  
事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016  
e-mail:nwrc@sweet.ocn.ne.jp

会長/池田 修平 幹事/中野 欣哉 クラブ会報委員長/青木 宏  
SAA/小山浩太郎 副 SAA/若麻績信昭

第1311回例会 2014年(平成26年)10月3日(金)  
第1312回例会 2014年(平成26年)10月10日(金) 職場例会  
第1313回例会 2014年(平成26年)10月19日(日) 地区大会  
第1314回例会 2014年(平成26年)10月25日(土) ロータリーの森林(もり)例会

## ロータリーに輝きを LIGHT UP ROTARY

### 副会長挨拶

齋藤 泉副会長

9月27日発生した御嶽山の火山被害は、戦後最悪の結果となり、犠牲者が47名にいたりしました。まだ安否確認が取れていない方もおり、人的被害の全容は、なお判明しておりません。



犠牲者の方々には、心からご冥福をお祈り申し上げます。

私の時代は、火山は、死火山、休火山、活火山の3種類でしたが、現在は火山は全て、活火山との事です。

さて、私の家庭菜園生活も2年目に入り、春先からいろいろな作物を育ててきましたが、失敗の連続でした。今年は、一般的にナスが不作でしたが、夏場に荒療法をしたのが功をそうし、数少ない成功例です。来年もやってみたいと思います。季節の移ろいを感じるのは、朝の時間です。春先は4時頃から明るくなったのが、現在では、5時30分頃にならないと明るくなりません。

今収穫出来る野菜は、ブロッコリー・ホウレン草・春菊・ナス等です。又、来年の作物の苗作りに汗を流しております。

来年は、更なる楽しみが築ける様、がんばりたいと思います。

### 10月のお祝い事

おめでとうございます



#### <会員誕生記念>

瀧澤 聡さん 若麻績信昭さん 綿貫隆夫さん

#### <夫人誕生記念>

南ゆき子さん 吉田純子さん

#### <結婚記念会員>

青木茂人さん 池田修平さん

小出昭雄さん 西沢 徹さん 坂井史明さん

齋藤 泉さん 鈴木都美雄さん 高橋英司さん

高井 亘さん

### 幹事報告

中野欣哉幹事

・次週10月10日(金)は職場例会、10月19日(日)地区大会、10月25日(土)森林(もり)例会。

10月17日(金)、24日(金)の例会はありません。

・19日地区大会のバスは、長野 RC と一緒に参ります。ホテル国際出発は6時30分 東口経由で行きます。バス担当者：高井亘会員家族委員長  
・11月8日 北信第2グループ IM の講演会のお誘いについてご希望の方は10/14までに。

10/31 本日のプログラム

ゲスト卓話 小山田恒雄さん  
「幸村の手紙」

**ゲスト** 八田 慎蔵さん

(エコール・ドまつしろ倶楽部 代表)

- ・若麻績信昭さん☆八田さんようこそ。(私は都合により欠席しますが・・・)
- ・竹村利之さん☆八田さん、松代学第Ⅱ章のスタートについて、松代再建の立場となった恩田木工のことを、十分説明してくださるようお願い致します。
- ・野村泰久さん☆何となく良い秋晴れで。八田さんようこそ！

・合計 9,000円 ・スヌーピー 3,605円

・累計 260,244円

**IM・会員セミナー案内** 清水クラブ奉仕委員長

北信第1グループのIM・会員セミナーが須坂ロータリークラブホストで11月16日スザカ迎賓館にて開催されます。例会を振り替えていますので大勢の皆様のお席をお願いします。登録の関係がありますので、早めの返信をお願いします。

**講師紹介**

竹村利之さん

八田慎蔵さんには、昨年9月に、シリーズ松代



6代藩主真田幸弘真筆の掛け軸

学第Ⅰ章で、「佐久間象山と八田家」のお話を伺いました。この8月には長野RCでも卓話をされたそうです。今回第Ⅱ章として今日から6回にわたり、松代学を進めさせていただこうと思います。その1回目として、松代

藩が4代、5代と非常に貧しかったのですが、松代藩の救世主、真田幸弘6代藩主と恩田木工についてのお話を伺います。

**例会案内**

11月7日(金) 会員卓話 竹村利之さん  
「庭園都市と松代藩」

11月16日(日) IM 会員セミナー  
於：スザカ迎賓館

**ゲスト卓話 八田 慎蔵さん**

真田幸弘6代藩主と恩田木工について  
〔「日暮硯」にみる松代藩の救世主〕

- ・松代藩は真田家4代藩主信弘公の時代から、恒常的な財政危機状況に陥り、5代信安公の代では水害・地震等大災害にも見舞われ原八郎五郎、田村半右衛門等の執政に財政再建を託したが、百姓一揆、足軽ストライキに見舞われ大失敗の中、失意の5代藩主が急死。13歳の幸弘が、6代藩主を引継いだ時は、極端な財政破綻状況に陥っていた。
- ・幸弘公は、百姓は宝だという恩田木工の噂を重視し、彼の登用による再建を決意し親類筋の協力を得て、木工を説き伏せ、長老や諸役人にも全権委任を誓わせる誓紙を取り交わさせ木工の活動がやり易くできるよう支援した。
- ・木工の改革の施政方針は、藩主の臨席のもと異例ともいえる城内大広間に家老・役人衆・名主百姓代表等全員を集め「嘘は言わない、前言を変えない、半知借り上げの廃止、賄賂は取らない、足軽の年貢徴収の廃止、先納先々納の廃止、ただし既納分は藩の貰い得、御用金の廃止、年貢未納者は納入不要、課役の廃止、月割りで年貢納入、家業のあとは楽しみ、直訴状で不良役人の提訴など・・・」従来の改革施政者が無理難題を下々に押し付けたものと違い、民百姓はじめ諸役人を思いやり、正直・信頼・合意といったものを一つずつ懇々と説き明かし、中には不合理な話もあったが、「かしこまり奉り、有難きしあわせ」を皆から引き出した。
- ・木工の藩政改革は、開墾・産業振興・儉約といったものでなく、人心掌握術による藩全体のモチベーションの向上と不正横行による藩の窮地を人との対話を主とした地味な方法で救ったこうした人間尊重の政策で、慈悲の政策と評価されている。
- ・なお幸弘公の正妻は、白河松平氏の出でその甥が佐久間象山を取り立てた8代幸貫公の父君にあたる寛政の改革をすすめた老中、松平定信である。

